

スポーツ推進だより

平成29年12月 No.127



第64回 岡崎市民体育祭 (29.10.8)

スポーツ推進だより 目次

第64回岡崎市民体育祭	2-3
スポーツ推進委員 第2回全体研修会	4
Area report (梅園学区)	5
Area report (広幡学区)	6
Area report (常磐東学区)	7
愛知県スポーツ推進委員研修会	8



第64回 岡崎市民体育祭

岡崎中央総合公園 球技場



第1ブロック優勝 恵田学区

「市民体育祭を通じて」 恵田学区 堀越 政彦

去る10月8日、岡崎市市民体育祭が、無事盛大に開催されました。恵田学区においては、久しぶりの開催ということもあり、多くの方々に参加、応援を頂きましたおかげで、優勝を勝ち取ることが出来ました。また本大会を通じ、多くの学区内外の方々とも交流が図れ、大変有意義な1日となりました。

第2ブロック優勝 愛宕学区

「学区一丸となって」

愛宕学区 柴田 耕治

今年の「岡崎市民体育祭」は2年続けて雨天のため中止になっており3年ぶりの開催となりましたが、その鬱憤を晴らすかのように我が愛宕学区は9年ぶりのブロック優勝という快挙を成し遂げることが出来ました。最後の最後まで混戦でしたが、放送で「優勝」という結果が分かった時には学区の皆さんと共に久しぶりの優勝を喜び合うことが出来ました。この「優勝」という素晴らしい結果は高得点を挙げてくれた選手の皆さんはもちろんのこと、朝早くから体育祭の準備などに協力して頂いた学区の皆さんや学校の関係者の方々など多くの人たちの協力の賜物であり、学区の皆さんの一丸となった熱い応援で勝ち取った結果であると心より感謝せずにはいられません。学区の皆様、本当にありがとうございました。心からお礼を申し上げたいと思います。



第3ブロック優勝 美合学区

「10年ぶり優勝」

美合学区 戸松 裕

ブロックが上がってから悔しい年が続く中、優勝をめざそう!という意識が高まり、委員長を始めとして皆が真剣に取り組んできた結果、10年ぶり優勝。しかも初?の中学生男女のロケットスタート後、首位を譲ることなく優勝でき、喜びもひとしおです。毎年恒例の反省会は祝勝会になりました。選手、関係者の皆様の御協力に感謝致します。



第4ブロック優勝 福岡学区

「一致団結、福岡学区」 福岡学区 辻 めぐみ

「フレー！フレー！福岡、がんばれがんばれ！福岡～！！」福岡学区応援団の熱い声援をうけ、選手みんなが力を出しきって見事に優勝できました。小・中学生が男女ともに断トツで1位を獲得してくると大人の選手達にもプレッシャーが...それでも最後までみんなのがんばりで久しぶりの優勝。とても盛り上がり、団結できた素晴らしい体育祭でした。

第5ブロック優勝 広幡学区

「2回連続優勝」 広幡学区 山本 玲貴

過日行われました市民体育祭では、第5ブロックでみごと優勝を勝ち取りました。中止2回をはさんで2回連続の優勝となります。祝勝会では「来年も優勝し3回連続優勝のトロフィーをもらおう！」と誓い合いました。



第6ブロック優勝 羽根学区

「羽根ウェーブ」 羽根学区 服部 将義

「クハーツ ビール旨っ！」みんな笑ってる凄く笑ってる。いつもの反省会が今年ばかりは祝勝会。素晴らしい一日だった。

小中学生は毎年とても頑張ってくれるが、玉入れあたりからリズムが崩れ出すのが常、しか～し今年はすべて上手く行く。

応援も徐々に一体となって何時しか羽根ウェーブになっていった。

第7ブロック優勝 梅園学区

「4大会振りの優勝奪回」 梅園学区 香村 良孝

私がスポーツ推進委員に就任した平成22年の大会時、2連覇の優勝でした。その翌年雨で中止、3連覇のかかった平成24年度は惜しくも準優勝の結果になり、3連覇を成し遂げられず、その後の大会も準優勝で根石学区に3連覇され、悔しい思いをしました。

平成27、28年とも雨で中止になり、今年は大会を開催出来ました。事前の情報で竜海中学女子陸上部は400Mリレーで全国大会優勝しているメンバーがそのまま、六名学区で出場してくると聞き、今年も優勝のハードルが高いと思っていました。前半のトラック競技4種目が終わった時点で1位と7点差をつけられ今年も諦めムードでしたが、玉入れ、バージャンプ、障害物800Mリレーと連続で1位を獲得し大逆転。最後の年齢別混合800Mリレーで完走すれば優勝のところを2位でゴールし、総合で2位に8点差をつけ、7ブロックの優勝を、4大会ぶりに成し遂げられました。勝因は小学生のガッツある、バージャンプが導いてくれました。



第2回全体研修会

梅園学区 稲吉 幸江

8月26日(土)、花園体育センターにて『第2回全体研修会』が開催されました。スポーツ推進委員63名が参加しました。

今回の研修種目は「スローピッチソフトボール」、「ペタンク」、「ニチレクボール」の3種目です。

開講式の後、モーニングストレッチで体をほぐし、2班に分かれ順番に体験しました。



スローピッチソフトボール

「スローピッチソフトボール」は、1チーム10人で、試合回数は7イニングです。ボールは4号球を使用します。私は初めての体験だったので、ボールを見た時に、グローブに収まるのかなと思ってしまうくらい大きく感じました。

特徴は、投球が地面から1.5m以上3m以下の山なりボールで、その名の通りゆっくりです。バッターは、バントや大根切り打は禁止です。2ストライクからのファールはアウトとなります。ランナーは、盗塁・離塁無しで、バッターが打ったら走ります。

チームに分かれて、試合形式で体験しました。ピッチャーは、コントロール良く投げるのが難しそうでした。バッターは、山なりボールにタイミングを合わせられるかがポイントです。それでも、三振を取ったり、ランニングホームランを打ったりと、ナイスプレーも飛び出しました。チームで声を掛け合いながら守ったり、生還走者をベンチでタッチのお出迎えをしたりと盛り上がりました。



ペタンク

「ペタンク」は、的となる木製の球(ビュット)を投げ、それに向かって金属製の球を投げ合い、ビュットに近い球を投げたチームにポイントが入る競技です。カーリングに似たルール of 競技です。

対戦人数は3対3・2対2・1対1があり、1チームの持ち球は6球です。球は650g~800gの重さがあるので、腕を痛めないよう順手で球を包み込むようにして持ち、スナップを効かせ投げたり転がしたりします。相手を妨害したり、ビュットに当ててはじいたり、1投1投作戦を立てて、最後の1投まで勝敗がわからない、ハラハラドキドキの楽しめる競技でした。

ニチレクボール

「ニチレクボール」は、ルールはペタンクと同様の室内競技です。体育館の床を傷めないような特殊なボールを使用します。ペタンクと違い室内なので、ビュットやボールが転がり易いです。ペタンクの後でニチレク



ボールを体験した人たちは、ボールが止まらず思った以上に転がってしまい、悪戦苦闘している様子でした。

種目毎に研修部員の講師の方からルール等の説明を受け、実践及び質疑応答をしました。日中は残暑厳しい日でしたが、空気の気持ちいい夜間で、有意義な時間を過ごせました。どの競技も、やってみると本当に楽しめる競技です。自分たちが体感したことを、学区に持ち帰り普及に努めたいと改めて思いました。



Area Report

学区紹介

長く継続できるスポーツの普及へ

香村 良孝

梅園学区は岡崎市内で4番目に人口が多く、梅園小学校の創立は1番古いと言われています。1871年（明治4年）に設立され、1916年に今の場所に移転された時に額田郡梅園尋常高等小学校と称しました。昨年現在の場所に移転し百年を迎え、活気のある学区です。31町内と27団体が構成した協議会で、毎年5月に梅園学区レクリエーション大会（運動会）開催の運営会議をすることから、新年度が始まります。この運動会で新旧の顔合わせができ、コミュニケーションと親睦がとれることで、1年の行事がやりやすくなります。行事は主に社教中心に各団体と会議を繰り返し行い1年の行事を決定します。

梅園学区体育行事

- 5月 レクリエーション大会
- 6月 ソフトミニバレーボール大会
- 10月 市民体育祭
- 11月 グラウンド・ゴルフ大会
- 2月 ウォーキング
- 3月 ペタンク大会



今年も2000人以上が参加したレクリエーション大会を始め、ソフトミニバレーボール大会、市民体育祭などの行事が行われました。なかでも、社教体育部主催のソフトミニバレーボール大会が一番準備期間が長く競技内容について何回も会議を重ねる為、大会が終わると、達成感があります。



誰でもできる生涯スポーツのひとつとして取り上げられてから、今年度で第28回と1番長く大会を継続しているスポーツのひとつで、学区ではグラウンド・ゴルフ大会と肩をならべる競技です。



ソフトミニバレーボール大会を始めた当初は、まずルールと審判の仕方を覚えて貰う為に、大会前1週間に教えこんでから大会に臨んだと聞いています。現在では、大会までの合同練習期間1週間は、社教独自のルールの確認をします。今年度はラストボールに限り男性のジャンプアタック禁止ルールを採用し安全面を考慮しました。ソフトミニバレーボールを始めた頃は、相手コートにサーブが入れば先取、得点という場面もありましたが、今ではボールのスピードが速くライン上の判断が難しくなっているのが現状です。

年々初めて参加されるチームが減っているので、クラス分けをし、初参加でも楽しめるようにしてあります。今後もソフトミニバレーボールのように長く継続でき、誰でもできるニュースポーツを考えスポーツ推進委員3人が中心となり、広めて行けたらと思います。



Area Report

学区紹介

スポーツを通じた地域交流

山本 玲貴

広幡学区体育行事

- 5月 小学校・学区民合同大運動会
- 6月 ソフトミニバレーボール大会
- 7月 (ファミリーバトミントン講習会)
- 8月 スローピッチソフトボール大会
- 10月 市民体育祭
- 11月 グランド・ゴルフ大会
- 12月 ミニテニス大会
- 2月 (ファミリーバトミントン講習会)



広幡学区は、岡崎城の北部に位置し、家康行列の起点でもある伊賀八幡宮など神社仏閣も多く、城下の静かな町並みがある一方、岡崎西高校や大型商業施設もあり明るく元気な街となっています。

さて、広幡学区の社教体育部は24町から選出の71名からなり、内3名がスポーツ推進委員を兼務しており、学区体育委員とスポーツ推進委員が一体となって体育行事を運営しています。

年間の体育行事としては、5月の小学校・学区民合同大運動会から始まり12月のミニテニス大会まで、24町を16グループに分け、楽しく和気あいあいとしながらも優勝目指して真剣に競い合います。

特に、ソフトミニバレーボール大会とスローピッチソフトボール大会は、連尺学区、愛宕学区、井田学区で構成する中央第2ブロックの大会と市の大会の選考を兼ねており、白熱したゲームが展開されます。今年度はソフトミニバレーボールが、中央第2ブロック大会で優勝しました。市の大会も楽しみです。

また、グランド・ゴルフ大会とミニテニス大会は、年齢層も幅広く多くの学区民のみなさんに楽しんでいただいています。来年度からはさらに多くのみなさんに楽しんでいただくべく、ミニテニス大会をファミリーバトミントン大会へ変更することを予定しており、今年度は7月に体育委員向けと2月に学区民向けにファミリーバトミントンの講習会を計画しました。7月の体育委員向け講習会では、思ったよりも楽しくミニテニスよりも万人向けだと好評なご意見をいただきました。

広幡学区は、広幡小学校の教職員のみなさんをはじめ、総代会など各諸団体とも非常に良好な関係を築いており、スポーツに関しても高いご理解をいただいています。体育館が小さいとか運動場が狭いとかちょっとした悩みもありますが、工夫を凝らしながらこれからも新しいスポーツを取り入れつつ振興を図りたいと思います。



常磐東

Area Report

学区紹介

スポーツで地域の親睦を深める学区の輪

金原 正直

常磐東学区は、岡崎市の最北東に位置し周りは山に囲まれています。車で20分ほどでインターが3ヶ所あり、静岡・岐阜・三重方面のインターに乗れる場所で、自然が豊かな6町からなる人口1213人の学区です。

常磐東学区体育行事

- 5月 常磐東学区大運動会
- 6月 学区球技大会
ソフトボール大会(男子)
ソフトミニバレーボール大会(女子)
- 8月 常磐地区球技大会
- 10月 市民体育祭
- 11月 学区球技大会
ソフトミニバレーボール大会(混合)
- 2月 ファミリースポーツ大会

春の大運動会では学校と地域と一緒に力を合わせ準備し、得点種目では、皆で声を出し合い応援も白熱します。最後の地区別対抗戦まで接戦で、どこが優勝するか判らず、最後のアンカーがゴールするまで、皆さんドキドキハラハラ熱戦の戦いとなりました。終わってみれば1位～4位が1点を争う緊迫した展開でした。

今年は、ソフトボール大会は残念ながら雨天中止となってしまいましたが、ソフトミニバレーボール大会は無事に終えることができ、「スポーツで地域の親睦を深める学区の輪」は、寄り一層に深まったと思います。



常磐東学区では、女性を中心にソフトミニバレーボールが大変盛んで体育館、子供の家は連日練習に励んでいます。第23回岡崎市スポーツ・レクリエーション祭では、チーム「E☆STAGE」Gコートで1位でした。素晴らしいチームワークとなりました。

これからもスポーツ行事を通じて、より沢山の方々と関わり親睦・交流を深める学区になっていく「輪」を大切にして、元気な活気のある常磐東にしていきたいと思っています。

平成29年度愛知県スポーツ推進委員研修会

六ツ美中部学区 萩原 光一

平成29年度愛知県スポーツ推進委員研修会が、9月30日（土）に日進市体育館で総勢994名を迎え開催されました。研修会の趣旨は、各市町村におけるスポーツ推進に関する諸問題について研究協議し、スポーツ推進員の資質向上を図ることです。研修会に先立ち、スポーツ推進委員20年、10年経験者の表彰がおこなわれました。岡崎市からは、山本幸正さんが10年表彰を受けられました。研修会では、大府市と高浜市の実践発表がありました。大府市はレスリング吉田沙保里選手や伊調馨選手で有名な至学館大学や柔道の吉田秀彦選手、谷本歩実選手が通った大石道場がある「金メダルのまち」です。実践発表は①ニュースポーツフェスタ、②総合型地域スポーツクラブ「OBUエニスポ」とのかかわり、③出前講座でした。ニュースポーツフェスタは毎年12月にインディアカやビーチボールバレー（ビーチバレーではありません）などのニュースポーツを体験し魅力や楽しさを知ってもらうイベントです。「OBUエニスポ」ではミニテニス、出前講座ではビーチボールバレーの普及にそれぞれ連携をしています。今後の取組はノルディックウォーキングの普及活動で、誰もができて適度な運動になることが理由です。課題として障害者とのかかわり方とスポーツ推進委員の担い手不足で、現在スポーツ推進委員は定員30名のところ22名で頑張っています。高浜市は、粘土瓦の全国シェア7割を占める三州瓦の主要生産地の一つで、盛んになったのは矢作川の良質な粘土と海に面しており運搬に便利なことです。それ以外にも「おまん和祭り」やB級グルメ「とりめし」、スポーツイベントとして「市民レガッタ」、「高浜シティマラソン」などが自慢です。実践発表ではリラックス・バランスボール教室、宝探しウォークラリー、ノルディックウォーキング講習会、ファミリーバドミントン体験会がありました。今後の普及活動はファミリーバドミントンとノルディックウォーキングで、それらは幅広い年齢層が楽しめ、また人と人とのつながりを生み出すことができるからです。大府市・高浜市とも今後の活動としてノルディックウォーキングを挙げられていました。それは老若男女を問わず参加でき健康に寄与する運動量があるからと思われます。今回の研修で、活動で忘れてはいけない視点は幅広くスポーツへの参加を促し人と人をつなげる役割を果たすことを学びました。



発行 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会
編集 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会広報部
事務局 ● 岡崎市社会文化部スポーツ振興課 (TEL23-6363)